

法事・法要 勤修のための留意点 (ガイドライン)

十分な感染予防を行って、法事・法要をおつとめします。
「3つの密」(密閉・密集・密接)を避けながら、
ともに仏さまのお話を聞かせていただきますよう。

法事・法要の時には、
基本的な感染対策をお願いします。

感染予防の基本

◎体調管理

体温を測定
体調を確認

◎手洗い・消毒

丁寧な手洗い
共有物も消毒

◎咳エチケット

症状がなくても
マスクを着用

◎席配置の工夫

手を伸ばしても
届かない程度に

◎適度な換気

こまめに
空気を入れ換え

◎密接を避ける

会話のときは
正面に立たない

新型コロナウイルス感染症対策に関する詳しい情報は、
厚生労働省や日本赤十字社などのHPをご参照ください。

いま 私にできること
私のいのちを大切にすること
他の人のいのちを大切にすること

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

僧侶のみなさまへ

法事・法要が安心しておつとめできるよう、できるかぎりの対策と工夫をお願いします。

私たちにできること —お寺でおつとめするために—

◎堂内は

- ・手すり・椅子・ドア・テーブルなどを消毒します。
- ・1～2m間隔を空けて席を配置するとともに、十分換気します。
- ・消毒剤を入り口に置きます。

◎読経中は

- ・できるだけマスクを着用し、マスクをはずす場合は、十分な距離を確保します。
- ※出勤者が多いときは距離を空け、余間や外陣も活用して出勤します。

◎法話のときは

- ・参拝者と対面になる可能性がありますので、飛沫を防ぐ工夫をします。
- (例) 距離の確保、マスクの着用、飛沫防止板の設置、など

◎茶菓・お齋^{とき}は

- ・茶菓は個別包装されたものを用意します。
- ・食べ物は取り分けるものは避けて、個々に用意します。
- ・コップや食器等の共有は避けます。

◎地域の感染症の流行状況を確認し、参拝者を把握（記録）します。

◎発熱などがある場合は、参拝をお断りすることも必要です。

◎熱中症の対策も併せて行います。

工夫をこらし 安心できるお参りを

(実践例) 法話台に透明な衝立を設置



雪見障子をひっくり返し、ガラス板を上



下部を固定し、布などで覆います

私たちにできること —門信徒宅でおつとめするために—

◎仏間では

- ・ 1～2 m間隔を空けて席を配置し、十分換気いただくよう促します。

◎読経中は

- ・ 自身もできるだけマスクを着用するとともに、門信徒も一緒におつとめする場合は、マスクを着用いただくよう促します。また、マスクをはずす場合は、十分な距離を確保します。

◎法話のときは

- ・ 門信徒と対面になることが多いため、飛沫を防ぐ工夫をします。
(例) 距離の確保、マスクの着用など

◎門信徒宅に伺った際には、まず手洗い・消毒を行います。

※お参りから2週間以内に新型コロナウイルス感染症の発症が確認された場合は、保健所等の指示に従ってください。